

３年生、地域の農業に学ぶ！

-おいしいキュウリを育てる工夫と、生産者さんの思いに触れました！-

10月20日(火)。
3年生が、学校からほど近いキュウリ農家を見学させていただきました。地域の農家の方の温かいご協力により、実際にキュウリが育てられているビニールハウスを訪れ、農業の仕事について学ぶ貴重な機会となりました。
ハウスの中には、青々とした葉が生い茂り、たくさんのキュウリが育っていました。子どもたちは、普段スーパーなどで目にしているキュウリが、どのような環境で、どのように育てられているのかを、実際に自分の目で確かめることができました。
農家の方には、おいしいキュウリを育てるための工夫や日々の苦労、栽培から出荷までの仕事、そして、どのような思いでキュウリづくりに取り組んでいるのかなど、子どもたちからのたくさんの質問に、一つ一つ丁寧に答えていただきました。
私たちが普段何気なく食べているキュウリ。その一本一本が、農家の皆様の知識や経験、日々の努力によって育てられ、私たちの食卓に届けられていることを知る、大変有意義な学習となりました。
実は、群馬県はキュウリの出荷量が全国第2位を誇る農業県です。そして、私たちが暮らす邑楽・館林地域は、県内でも有数のキュウリの産地です。全国の食卓を支える農業が、こんなにも身近なところで営まれていることは、地域の大きな誇りでもあります。
今回の見学を通して、子どもたちには、地域の農業の素晴らしさとともに、食を支える仕事の大切さや、そこで働く人々の思いを感じ取ってほしいと思います。そして、いつの日か、この地域の農業に関心をもち、未来の農業や日本の食を支える担い手が、五小の子どもたちの中から育ってくれたら、こんなにうれしいことはありません。
お忙しい中、子どもたちのために貴重な学びの機会をつくってくださった農家の皆様、JA職員の方々、本当にありがとうございました！

館林市立第五小学校
©